

IV

如来の本願に背く動き

これに対して、自由民主党の改憲案(2012年「日本国憲法改正草案」)は、第9条を変更して、国防軍を保持し、自衛戦争や国際的軍事行動を可能にするものです。これは、戦争という「地獄」を容認するものです。また、改憲案の前文は、「経済活動を通じて国を成長させる」として、経済成長を国是としています。これは、「餓鬼」の道です。さらに、改憲案は、国民に憲法尊重擁護義務を課し、人権保障に「公益及び公共の秩序」による制限を加え、緊急時に国民を国の指示の下に置く緊急事態条項を設けるなど、憲法を「国民が国家を縛るもの」から「国家が国民を縛るもの」に変えています。これは、国民を国家に従属する「畜生」にするものです。この改憲案は、「地獄・餓鬼・畜生」の「三悪趣国家」を目指す改憲案と言わざるを得ません。

近年の、特定秘密保護法や安全保障関連法の制定、改憲による緊急事態条項導入の動きなどは、この改憲案の内容を先取りするものです。また、地震が多発する中で、原発再稼働の動きは、改憲案の経済優先と一致します。日本は、本願国家宣言とも言える憲法の下で、「地獄・餓鬼・畜生」の「三悪趣国家」への道を歩みつつあるようです。その先にあるのが、今の憲法を「三悪趣国家」を目指す改憲案に置き換える明文改憲です。このような動きは、如来の本願、いのちの願いに背くものです。

浄土真宗  
ドットインフォ

浄土真宗の教えに関する様々な情報を発信しています。

<http://jodo-shinshu.info/>

浄土真宗ドットインフォ

検索



V

地獄・餓鬼・畜生のない国を求めて生きる

とはいえ、この「地獄・餓鬼・畜生」の「三悪趣国家」への動きを容認し、支えているのは、実は、私たちです。私たちには、お金や物や安泰を求める欲望があります。これは、「餓鬼」の心です。そのために、空気を読み、自分を捨てて国や地域や組織の動きに従い、要領良く無難に振る舞おうとします。そして、現在の国・地域・組織が抱える問題に目を閉ざし、戦争につながる動きも見ようとしなくなります。これは、「畜生」の心です。最近、日本人は「今だけ、カネだけ、自分だけ」だと言われますが、まさに「餓鬼・畜生」の心です。その結果、戦争を容認し、支え、さらには求めるようになります。これは、「地獄」への道です。「地獄・餓鬼・畜生」の「三悪趣国家」を目指す動きを容認し、支えているのは、私たちの中にある「地獄・餓鬼・畜生」の「三悪趣の心」です。

念仏して本願に聞き、このような「日ごろのこころ」をひるがえし、本願に立って浄土を求めて生きるのが、真宗門徒の生き方です。そこには、本願に願われた国を求め、「地獄・餓鬼・畜生」の「三悪趣国家」に向かう動きを否定・拒否する、真宗門徒の「しるし」としての具体的な行動があるはずで、今の現実から、私たち真宗門徒の生き方が問われています。今こそ、親鸞聖人の真宗の教えに立ち帰り、本願に生きる生活を始めることが願われます。

お問い合わせ

真宗大谷派(東本願寺)解放運動推進本部

〒600-8164 京都市下京区上柳町199 しんらん交流館内

TEL 075-371-9247 / FAX 075-371-9224

願生浄土と  
戦争放棄

「地獄」と「餓鬼」と「畜生」のない国に  
(戦争) (欠乏) (恐怖)

真宗大谷派は、過去において宗祖親鸞聖人の仰せになきことを仰せとして語り、戦争に協力してきた歴史があります。私たちはその罪責を忘れず、歴史から学び、戦争を許さない、豊かで平和な国際社会の建設にむけて、すべての人々と歩みをとることを誓っています。

真宗大谷派  
東本願寺  
higashi Honganji  
Shinshu Otani-ha

[www.higashihonganji.or.jp](http://www.higashihonganji.or.jp)